

会議内容

件名	心のとびらを開く家庭づくり講座	作成課	青少年課
日時	令和5年8月24日(木) 14:00～15:30		
場所	鹿児島市中央公民館 ホール		
出席者	小・中学校関係者、育成市民会議委員 81人		
市出席者	青少年課、生涯学習課職員 45人		
会次第	1 開会行事 2 講演 演題 未来を拓くのは、目の前の子供たち ～子供が困った時に大人ができること～ 講師 天文館てんてん保育園、騎射場れいわ保育園 園長 中村 洋志 先生 3 質疑応答・意見交換 4 閉会行事		
講座の内容	1 講演の内容 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○時代が変化しても（AI、世界をリードする国の交代、人口増減等） 「人を思いやる心」「他者との協調性」等の人間力は、これまで以上に磨く必要があることに変わりはない。</p> <p>○講師の似顔絵を描いてもらう機会があるが、皆、違う。ややもすると画一的な見方のある時代があったが、それぞれ個性も完成も違う。</p> <p>○子供の自尊感情を育むこと。一人一人と向き合う姿勢が大切である。困った子ではなく、困っている子が困らないように支えていくことが大人の役割だ。困っている原因に、大人が引き起こしていることがあるのではないか。</p> <p>○「鈴木秀子先生の出会った少年」引用し、大人との出会いや関わり方で変わっていく。</p> <p>○子育ては、「期間限定」、子育てこそ最上の贅沢である。</p> <p>○日野原重明先生との出会いから、いのちは自分が使える時間であり、どれだけ長く生きられるかではなく、どれだけ深く生きるかが大切だということを教わった。</p> <p>○初任校で出会った子達との出会いでいい仕事に巡りあえたなど思っている。他</p> <p>〈子供への声掛けポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ❖ YOUメッセージからIメッセージの言葉の変換 ❖ 評価のあとには肯定的な内容を含んだ声かけ ❖ 子供との会話で親は「ね」を付けて返すとよい。 </div> 2 質疑応答・意見交換 (1) 「子供が困った時に大人ができること」の意見集約の共有と講師からのアドバイス (2) 2次元コード等を活用しての意見集約と講師からのアドバイス (3) 講演に関する質疑応答 3 受講生の感想 ○ 今回の講演は、子育てに関係する大人たちに共有したい内容だった。子供が成長していく中で、どのような声掛け、応援をするかで、子供は大きく変わっていくんだと考えた。まずは、子育てを楽しむという原点に戻りたい。 ○ 子育ては、難しく大変だなと感じる。日々悩みはつきないが、子供と正面から向き合い、子供一人一人の性格の違いを受け止め「褒める」ことを大切にしながら、子供と一緒に楽しんでいきたい。 ○ 子育ては期間限定の贅沢であるという言葉が強く心に残った。この贅沢に関わる生徒たちに向けていきたい。		